|  |
| --- |
| ２０１６年 ４月　No.５１  　日本比較文化学会  **JACC　比較文化会報**  **本部事務局**：〒574-8530 大阪府大東市中垣内3丁目1-1  大阪産業大学 14号館 　藤岡克則研究室内  **会長室**：〒780-8520 高知市曙町2丁目5-1　高知大学人文学部  奥村訓代研究室内  **学会HP**：http://www.hikakubunka.jp/ |

**第38回全国大会（2016年度国際学術大会）のご案内**

**日本比較文化学会東北支部長および大会実行委員長**

**佐藤 和博（弘前学院大学）**

＜お城が動いた次の年に＞

　昨年、弘前城の石垣を約100年ぶりに修理するために、天守を解体せずに移動するという弘前城曳屋が行われました。高さ14.4メートル、重さ400トンもの建物を、そのまま移動することなど到底不可能のように思えましたが、無事、お城は少し離れた場所に移されています。多くのひとたちの力と智恵を結集して物事にあたれば、大きなことも成し遂げられるという良い見本かと思われます。

会員の皆様方のご協力を頂いて、お城が動いた次の年、弘前の地で皆様を日本比較文化学会第38回全国大会、2016年度日本比較文化学会国際学術大会にお迎えしようとしています。大会実行委員長としては、大きな喜びです。

前回（第33回大会）弘前で開催してから、もう５年も経過したとは、時の流れは、まことに早いものです。遠くから参加して下さった皆様のことを今も思い出しております。特に懇親会で楽しんで下さった皆様の姿は忘れることはできません。

大会は５月21日（土）に弘前学院大学にて開催されます。桜の花を見る事は出来ないでしょうが、リンゴの白い花が皆様をお迎えすることでしょう。

参加される皆様方が気持ちよくご発表下さり、また、ご歓談下さりますればまことに幸いです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。よろしくお願いします。

**《日本比較文化学会第38回大会（2016年度国際学術大会）日程》**

**日本比較文化学会東北支部長および大会実行委員長**

**佐藤 和博**

**＊日程**

　　日時：2016年５月21日（土）

　　会場：弘前学院大学　１号館３階、４階の各教室

　　スケジュール：

　　　 　　　 8:45 受付開始　１号館玄関

　　　　　　　9:15-10:00 総会（途中で理事会をはさむ）414教室（４階）

　　　　　　　10:00-12:00 シンポジウム　414教室

　　　　　　　12:00-13:00 昼食

　　　　　　　13:00-17:00 研究発表

　　　17:00-18:00 講演会（礼拝堂）

　　　　　　　18:00-20:00 懇親会（学生食堂ライトホール）

**《支部報告》**

**東北支部**

＊【報告】　研究発表会および総会

日時：2016年３月５日（土）15:00～

場所：弘前学院大学

プログラム

１．研究発表

(1) 高橋 栄作（高崎経済大学 准教授）「言語獲得•言語習得時における脳内音響処理に関する音声知覚実験の一考察」

２．講演

　　佐藤 和博先生（弘前学院大学 教授）「アメリカ小説のレトリック」

３．総会

研究発表後、総会が開かれ、役員人事について、当面現体制を継続することが承認され、会計報告及び監査報告がなされました。終了後、懇親会が開催されました。

支部長　佐藤　和博

**関東支部**

＊【報告】　第42回研究発表会（例会）

　　　日時：2016年１月９日（土）

　　　場所：新島学園短期大学

プログラム

１．研究発表

(1) 前田 浩（新島学園短期大学 教授）「一筋縄では行かない英語の文法規則」

(2) タンティミビン（宇都宮大学大学院）「日本在住ベトナム人子どもの母語教育の現状と課題」

(3) 東本 裕子（横浜商科大学 特任専任講師）「使用言語が話者に及ぼす影響―二言語話者への聞き取り調査から―」

(4) 鄭 春美（宇都宮大学大学院）「韓国における高学歴中国朝鮮族の韓国への移動について―高麗大学校と在韓朝鮮族青年連合会の調査を基に―」

(5) カルロヴァー ぺトラ（早稲田大学 助手）「南洋に関する松本信弘の著書における南進論の影響」

(6) 成田 小百合（新島学園短期大学 准教授）「保育者になることと重要な他者」

＊【お知らせ】　2015年度関東支部総会および第43回研究発表会

　日時：2016年３月19日（土）13:00～

　　　場所：東京未来大学

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　支部長　近藤　俊明

**中部支部**

＊【報告】　2015年度第２回役員会

　　　日時：2015年２月20日（土）11：40～12：30

　　　場所：静岡県立大学

１．報告事項：（1）会員の入会、会員総数

２．審議事項：（1）役員改選　（2）支部推薦本部理事候補　（3）平成29（2017）年5月20日開催の全国大会国際学術会議シンポジウムのテーマの司会者

＊【報告】　2015年度総会

日時：2016年２月20日（土）16:40～17:00

　　　場所：静岡県立大学国際関係学部棟3315教室

　　　進行：津村公博

１．報告事項：（1）会員の入会、会員総数

２．審議事項：（1）役員改選：支部長に澤田敬人、副支部長に川口雅也、安藤雅之、津村公博、白鳥絢也、ハラスメント相談員は杉本貴代、太田敬雄などの役職が決定した。（2）支部推薦本部理事候補（澤田敬人、川口雅也）が決定した。（3）2017年５月20日開催の全国大会国際学術会議シンポジウムのテーマと司会者については、2016年５月の大会開催時までに決めることが確認された。

＊【報告】　2015年度例会

日時：2016年２月20日（土）13:00～17:00

　　　場所：静岡県立大学国際関係学部棟3315・3316教室

プログラム

１．開会のあいさつ　澤田敬人

２．第1部　自由研究発表　13:00～13:50

　　　　司会：澤田敬人

(1) 塚本 美穂「バービーと社会」

３．第2部　勉強会―話題提供者を囲んで　14:15～16:40

　　　　テーマ「米国テレビドラマ*Star Trek*から考える多文化共生の在り方」

　　　　話題提供者：川口雅也（浜松学院大学准教授・中部支部副支部長）

４．閉会のあいさつ　澤田敬人

支部長　澤田　敬人

**関西支部**

＊【報告】　2015年度12月例会

　　　日時：2015年12月５日12:50～17:00

会場：同志社大学今出川キャンパス　良心館407番教室

プログラム

１．関西支部総会

２．研究発表

(1) 橋尾 晋平（同志社大学大学院）「非母国語ディベートを取り組む意義に関する一考察―英語ディベートの活動例と日本語教育への応用―」

(2) 曹 微苛（同志社大学大学院）「自然会話における『ではないか』と“不是……吗”の日中対照研究―共通基盤の仮定・喚起・主張を中心に―」

(3) 王 歓（同志社大学大学院）「中国人日本語学習者に対する確認要求表現について―『よね』『だろう』『じゃないか』を中心として―」

(4) キャンディー（同志社大学大学院）「断り表現の出現順序についての一考察」

(5) 劉 玲芳（大阪大学大学院）「貿易資料から読み解く中国人の身装文化」

３．講演

中川 久公先生（京都恵美須神社宮司・同志社大学嘱託講師）「雅楽に生きる」

＊【報告】　2015年度３月例会

　　　日時：2016年３月12日　14:30～16:50

場所：同志社大学今出川キャンパス　良心館407番教室

プログラム

１．研究発表

(1) 橋尾 晋平（同志社大学大学院）「語句整序問題の適正な利用について考える―『英語にしにくい日本語』による文産出への影響との関係から」

(2) 中村 友紀（関東学院大学 准教授）「近代初期イングランドのシャリヴァリと演劇の暴動心性」

２．講演

竹本 知行先生（国際日本文化研究センター 研究員）

「兵の詩学―幕末・維新の西洋兵学と近代軍制―」

支部長　山内　信幸

**中国四国支部**

＊【報告】　関西・中国四国・九州三支部合同研究大会

　　　日時：2015年８月29日（土）　13:00~18:00

場所：高知大学

プログラム

１．研究発表

司会：岩崎 亜美（高知県立東高校）

(1) 大河原 真紀（高知大学大学院）「アニメの日本語教育への利用に関する一考察」

(2) 細木 多恵（高知大学大学院）「日本の高等学校における留学生のための教材・カリキュラム試案」

(3) 和田 義許（高知大学大学院）「高知の県民性と国際性：山岡亮一を中心に」

司会：梶原　雄（同志社大学 嘱託講師）

(4) 趙 科（九州大学大学院）「佐多稲子が描く『大陸の花嫁』」

(5) 來田 恵美（高知大学大学院）「学習環境による『だから』の表出状況」

(6) 公文 素子（高知大学 非常勤講師）「学生の防災視聴覚情報の認知度について：日本人学生と留学生を比較して」

司会：山下 明昭（香川大学 教授）

(7) 大岩 秀紀（徳島文理大学短期大学部 教授）「『第5文型』再考：英語教育と英語学の観点から」

(8) 中村 友紀（関東学院大学 准教授）「近代初期イングランド演劇のパグリック圏：知の共有のネットワーク」

(9) 藤内 響子（九州情報大学 准教授）「初期近代英語における動詞の命題補部―特に数種の補部をとる動詞についての定量言語学的アプローチ」

司会：中村 友紀（関東学院大学　准教授）

(10) 藤岡 克則（愛媛大学 教授）「二つの文化の乖離と融合：科学と非科学の文化的考察」

(11) 八尋 春海（西南女学院大学 教授）「翻訳を通して見るアメリカ文化―『スクール・オブ・ロック』を事例として―」

２．講演

司会：奥村 訓代（高知大学　日本比較文化学会会長）

講演者：伊井 幸夫氏（イザナギ流太夫）

演題：「イザナギ流を語る」

支部長　山下　明昭

**九州支部**

＊【報告】　第18回九州支部大会

日時：2015年３月５日（土）

場所：北九州市立大学

プログラム

１．総会

次期支部役員（全員留任）が承認されました。

２．研究発表

(1) 樋口 真己（西南女学院大学）「官・民・学のネットワークによる自主研究会の活動と展開―生涯学習関係職員の学びを中心に―」

(2) 佐藤 慶治(九州大学大学院)「明治期の唱歌集におけるジェンダーの創出―「翻訳唱歌」の歌詞分析を中心として―」

(3)任 大欣（久留米大学比較文化研究所）「中国既成観光地周辺地域における農村観光の展開―泰安市岱岳区里峪村を事例として―」

(4) 山田 健太郎（長崎県立大学 准教授）「観光と関連づけた英語学習の事例研究（グラバー園を中心に）」

(5) 伊藤 すみれ(京都大学大学院)「近代日本における清貧イメージの検討―明治・大正期の新聞記事から―」

(6) 大田 千波留（熊本学園大学 非常勤講師）「<毛沢東>の集合的イメージとノスタルジアの多層性」

(7) 池田 祐子（中村学園大学 講師）「『アーネスト式プロポーズ』の可視化された反ヴィクトリアニズム」

(8) 藤山 和久（熊本高等専門学校 講師）「Joseph Conradの*Nostromo*における南米世界」

(9) 山口 裕美（津山工業高等専門学校 講師）「『バイロン的』とは何か―『チャイルド・ハロルドは死の海へと巡礼する』（1818）にみる他者のまなざし―」

(10) 曽田 裕司（尚絅大学短期大学部 准教授）「音遊びの会が問いかける自律と結びつき―ヘンリー・ソローとジョン・ケージを手がかりに―」

(11) 林 裕二（西南女学院大学 教授）「『伊豆の踊子』英訳再考―呼称と呼び掛け語について―」

(12) 高瀬 博（福岡県立須恵高等学校）「『英語辞典』を使った効果的『アクティブ・ラーニング』のすすめ

＊今後とも他支部会員のご参加・ご発表は大歓迎です。

支部長　八尋　春海

**《事務局からのお知らせ》**

**事務局長　藤岡　克則**

**○会費納入に関するお願い**

会費の納入にいつもご協力いただき感謝いたします。従来より、一般会員は２年、学生会員は１年を超えて未納の場合には会員資格を失うことになっています。どうかご注意ください。会費に関する問い合わせがございましたら、学会ウェブサイト（http://hikakubunka.jp）の「お問い合わせ」ページより事務局会計担当までお問い合わせください。

　会費納入の郵便振替口座番号は以下の通りです。より詳しい情報は上記ウェブサイトをご覧ください。

02570-6-8921　加入者名：日本比較文化学会

　　振り込みの際には、所属支部と何年度分の会費であるかを明記してください。

　　また、本口座番号は支部会費の納入には使用できませんのでご注意ください。

**○会員情報更新のお願い**

住所不明により学会誌や会報をお届けできない会員の方がいらっしゃいます。就職、転勤等によるお引越の際には忘れずに会員調査書に新情報をご記入の上、下記アドレスまでお送りください。なお会員調査書は学会ウェブサイトよりダウンロードしていただけます。

＜日本比較文化学会ウェブサイト入会・会員情報変更＞

http://hikakubunka.jp/?page\_id=97

＜入会申込書・会員調査書送付先＞

あゆみコーポレーション（業務委託先） hikakubunka@a-youme.jp